

取扱説明書

AR HUD ユニット



ご購入いただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中にメニュー操作をしない
走行中に運転者がHUD操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

コンパイナースクリーンにフィルムやシールは貼らない

視界の妨げとなり交通事故の原因となります。

警告



禁止

画面が映らないなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

子供が製品にぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機に触れない
落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

警告



強制

実際の交通規制に従って走行する
本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更などにより、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。

運転者がメニュー操作するときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

メニュー操作は、安全のため走行中はできません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

特に夜間、トンネル等暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する

事故の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。



強制

運転の妨げとならないように、運転をはじめる前に、コンパイナの角度、輝度調整、製品の取り付けにゆみがないか確認する

事故の原因となることがあります。

走行中に遮光板やボタンを操作する場合は、運転に十分注意する
事故の原因となることがあります。

車両から乗り降りするときに、製品に頭部をぶつけないように注意する

ケガの原因となることがあります。

コンパイナの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。



指のケガに注意

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

お使いになる前に

ご使用前に知っておいていただきたいこと	7
---------------------------	---

基本操作

本機の基本操作を覚えよう	10
各部の名称とおもな働き	10
本機の電源について	12
microSDカードの入れかた・取り外しかた	12
ステアリングリモコンの使いかた	13
画面の輝度を調整する	14
コンパインナーの角度を調整する	14
遮光板について	15
画面を消す (DISPLAY OFF)	15
本機の設定を覚えよう	16
HUDセッティングを表示させる	16
ユーザー切換を行う	16
機能設定を行う	17
表示設定を行う	17
画面・画質調整を行う	19
Bluetooth設定を行う	21
バージョン情報を表示する	22
本機を初期化する	22
本機とナビゲーションを接続してみよう	23
Bluetooth機器登録を行う	23

AR HUD ビュー

本機を操作してみよう	26
AR HUDビューを操作する	26
本機を使いこなす	29

バージョンアップ

本機のバージョンアップについて.....	34
ナビゲーション本体と本機のバージョンを確認する.....	34
バージョンアップのステップ.....	34
microSDカードを準備する.....	35
microSDカードを登録する.....	36
ナビスタジオで更新データをダウンロードする.....	36
バージョンアップをする.....	37

困ったときは

故障かな？と思ったら.....	38
共通項目.....	38
AR HUDビュー.....	39
バージョンアップ.....	39
エラーメッセージと対処方法.....	40
共通項目.....	40
Bluetooth.....	40
HUDセッティング.....	41
バージョンアップ.....	41

付録

取り扱い上のご注意.....	42
本機の正しい使いかた.....	42
コンバイナーの正しい使いかた.....	42
遮光板の正しい使いかた.....	42
microSDカードの正しい使いかた.....	42
本体のお手入れについて.....	42
電波に関するご注意.....	43
保証書とアフターサービス.....	44
保証書.....	44
保証期間.....	44
修理について.....	44
補修用性能部品の最低保有期間.....	44
ご質問、ご相談は.....	44
仕様.....	45
商標・著作権など.....	46

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お客様へのご注意

- 本機を組み合わせる製品に付属の取扱説明書に記載された「安全上のご注意」もあわせてご確認ください。
- 走行中に運転者がHUD操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思われぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がHUDの操作を行う場合は、必ず安全な場所に車を停車してから行ってください。
- ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。また、車間距離や速度標識の表示、赤信号検知表示などはあくまで目安として、実際の視覚で確認して運転してください。
- 本機は、車の走行を検知しており、走行中に一部のメニュー操作などができないようになっています。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 本機を使用中に、疲労感、不快感などを感じた場合には、ただちに使用を中止してください。そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。適度な休憩をとってください。
- 近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、メガネの装着などにより、視力を適切に矯正した上で本機をご使用ください。
- DISPLAY ON/OFF操作 (→P15) を行った場合など、画面の切り換わりのタイミングで表示状態が一瞬乱れることがあります。故障ではありません。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス1レーザ製品

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

注意 - ここを開くとクラス 3R のレーザ放射が出る
目への直接被ばくを避けること

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

画面が見えにくいときは

- 偏光サングラスを使用すると、製品の光学特性により緑色に見えます。ご注意ください。
- 本機は、構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、コンパイナールの角度を調整 (→P14) し、調整した角度に合わせて画面・画質調整 (→P19) を行ってください。調整値はユーザーごとに登録 (→P16) されます。また、⊕/⊖ボタン (→P14) によって本機の明るさを変更できます。

高温時・低温時のご注意

- 高温時・低温時には製品内の部品を保護するため、明るさを下げて表示したり、映像出力を停止する場合があります。故障ではありません。車内温度が適正になるまで、しばらくお待ちください。
- 高温あるいは低温では十分な性能を発揮できません。本書に記載されている使用温度範囲(→P45)をお守りください。

microSDメモリーカードについて

- 本機は、microSDメモリーカードおよびmicroSDHCメモリーカードに対応しています。本書では、便宜上「microSDカード」と表記する場合があります。
- 本機はmicroSDXCメモリーカードには対応していません。
- 本機はすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードへのアクセス中は、microSDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- microSDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているmicroSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSDカードによっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットするとmicroSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、microSDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際には、必ずmicroSDカードのバックアップを作成してから行ってください。

microSDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションのホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/>

- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、microSDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負いません。フォーマットソフトウェアの説明書などをよくお読みになり、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業を実行してください。

著作権

本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

バージョンアップについて

- バージョンアップを行う際は、2 GB以上のmicroSDカードが必要です。
- インターネット接続環境をご利用にならないお客様へは、年1回、microSDカードによるバージョンアップソフトの販売を予定しております。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。

お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。下記URLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

お客様が保存されたデータについて

- 本製品の修理等において、お客様が行われたバージョンアップデータの保証についてはご容赦願います。
- 本機に登録された各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録（→P8）をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越などにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）へご相談ください。

その他

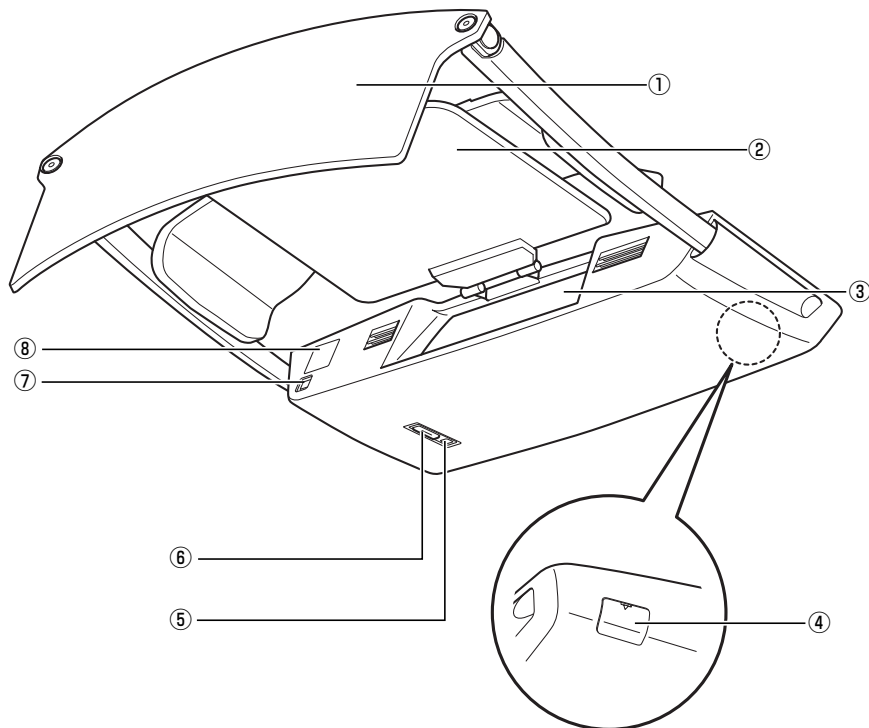
- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使用している画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取り外したサンバイザーには、エアバッグの注意事項などの警告ラベルが貼付されていることがあります。必ずお客様ご自身でご確認のうえ、取り外したサンバイザーは大切に保管してください（取り外したサンバイザーは車検時に必要な場合もあります）。

本機の基本操作を覚えよう

各部の名称とおもな働き

AR HUDユニット本体とステアリングリモコンの各部の名称と働きを説明します。

AR HUD ユニット本体



① コンバイナー

フィールドレンズから投影されるナビゲーション情報などを風景に重ねて表示します。

② 遮光板 (→ P15)

西日がまぶしい場合などに、一時的に遮光します。

③ フィールドレンズ

コンバイナーに表示するナビゲーション情報などを投影します。

④ microSD カードスロット (→ P12)

microSD カードを挿入します。

⑤ リモコン受光部 (→ P14)

⑥ DISPLAY ON/OFF ボタン (→ P15)

画面の表示を ON/OFF します。

LED 表示灯 / 警告灯 (→ P15)

本機の状態を LED の色と点滅で知らせます。

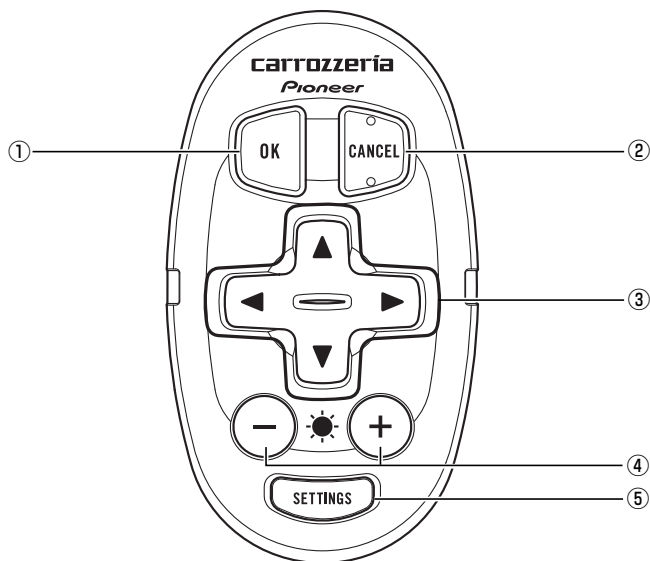
⑦ オートディマーセンサー (→ P14)

周囲の明るさを感知して、自動的に画面の輝度を調整します。

⑧ 電源接続端子 (→ 『取付説明書』 参照)

付属の電源ケーブルを接続します。

ステアリングリモコン



- ① **OK** ボタン
項目の決定に使用します。
- ② **CANCEL** ボタン
HUD セッティングの操作中、1 つ前の状態に戻りたいときに使用します。
- ③ **+** ボタン
項目の選択や設定値の変更などに使用します。
- ④ **+ / -** ボタン (→P14)
好みに応じて画面の輝度を調整するときに使用します。
- ⑤ **SETTINGS** ボタン (→P16)
ユーザー切換や各種機能の設定などをするときに使用します。

■ 本機の電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると自動的に切れます。



- 本機に電源スイッチはありません。

■ microSD カードの入れかた・取り外しかた

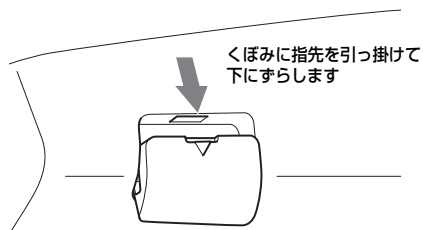


- microSD カードの出し入れを無理に行くと、本機や microSD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- microSD カードスロットには、microSD カード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中は microSD カードの出し入れはしないでください。
- microSD カードスロットのカバーは、ドライバーなど硬いもので無理やりこじ開けないでください。破損の原因になります。
- microSDXC カードには対応していません。



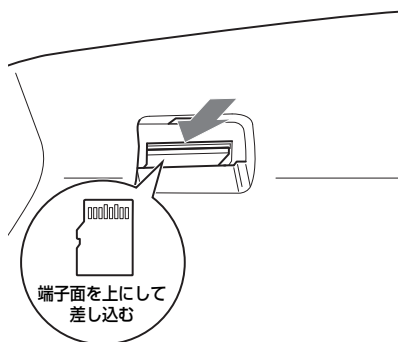
- 登録されていない microSD カードを挿入すると、microSD カード登録確認メッセージが表示されます。ナビスタジオを利用してバージョンアップなどにお使いになる microSD カードの場合は **はい** を選択してください。
- 本機と組み合わせて利用しているときに microSD カードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。
- 本製品には microSD カードは付属しておりません。市販の microSD カードをご用意ください。

1 microSD カードスロットのカバーを取り外す



入れる場合

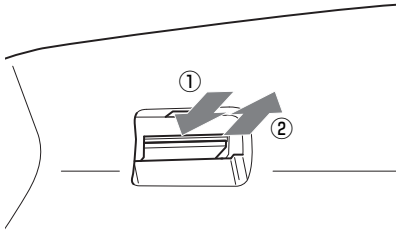
1 “カチッ” と音がするまで microSD カードを差し込む



- microSD カードは、図のような向きで差し込んでください。異なる向きに無理やり差し込むと、本機や microSD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。

取り外す場合

1 “カチッ” と音がするまで microSD カードを押し込んで離す



microSD カードが押し出されます。microSD カードをまっすぐに引き抜いてください。

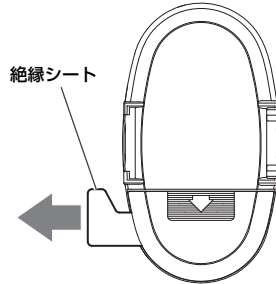
- ❗ 取り出した microSD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が進み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

2 microSD カードスロットのカバーを取り付ける

ステアリングリモコンの使いかた

ステアリングリモコンの電池について

電池はあらかじめセットされています。初めて使用するときには、透明の絶縁シートを引き抜いてください。

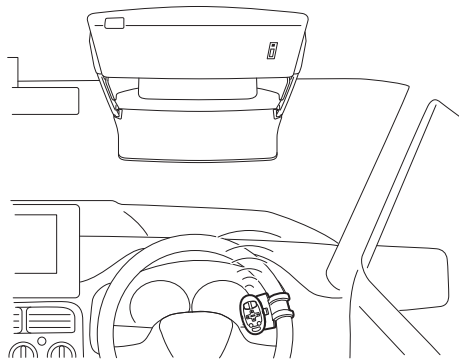


- 電池の交換が必要なときは、裏ブタをはずして、リチウム電池 (CR2032) の (+) 側を上にしてセットします。
- リチウム電池は充電できません。
- ステアリングリモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたり、操作速度や反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。





- ステアリングリモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液漏れが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

ステアリングリモコンの有効範囲について



ステアリングリモコンの先端(送信部)がリモコン受光部に向くようにして操作します。

- 
 ・ステアリングリモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。ステアリングリモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。

- 
 ・リモコン受光部に直射日光が当たっていると、ステアリングリモコン操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからステアリングリモコンを操作してください。

画面の輝度を調整する

工場出荷時はディマー設定(→P17)が「オート」に設定されているため、周囲の明るさに合わせて自動的に輝度が調整されます。

設定を「セミオート」に変更し、 \oplus / \ominus ボタンで手動調整することもできます。

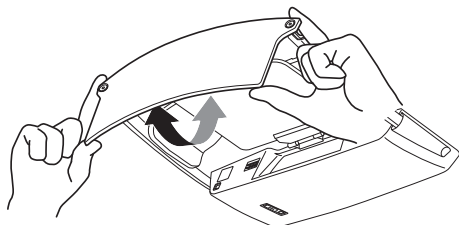
「セミオート」は、夜間まぶしい輝度で表示しないという安全上の配慮から、起動時およびDISPLAY ON/OFF ボタンをOFF → ONしたときは、周囲の明るさに応じて自動的に輝度が調整されます。



- ・ディマー設定を「オート」に設定しているときに手動調整操作を行うと、自動調整のレベルを変更できます。
- ・輝度を調整すると、色味も若干変わって見える場合があります。

コンバイナーの角度を調整する

座席位置に合わせて、コンバイナーの角度が調整できます。



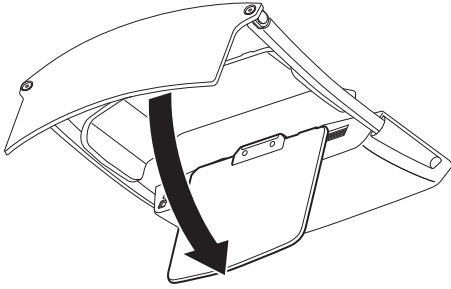
- ・画像が見えないときは、コンバイナーの角度が適切でない場合があります。画像が見えるように、コンバイナーの角度を調整してください。
- ・コンバイナーの角度を大きく倒すことによって、一時的に画像を見えなくすることができます。



- ・コンバイナーの角度を調整する場合は、コンバイナーの縁を挟むようにつかんで調整してください。

遮光板について

西日がまぶしい場合などに、遮光板を使用することで一時的に遮光できます。



・ 遮光板を使用するとフィールドレンズが遮られ、コンバイナーには何も表示されません。

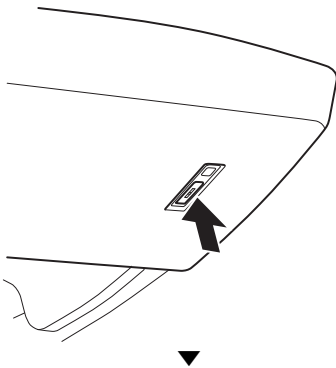


・ 遮光板を使用すると、前方視界の妨げになる場合があります。ご注意ください。

画面を消す (DISPLAY OFF)

夜間、画面がまぶしい場合など、画面を消すことができます。

1 DISPLAY ON/OFF ボタンを押す



画面が消えます。



・ もう一度押すと、画面が表示 (DISPLAY ON) されます。

LED 表示について

DISPLAY ON/OFF ボタンには LED が内蔵されており、本機の状態によって以下のように点滅・点灯します。

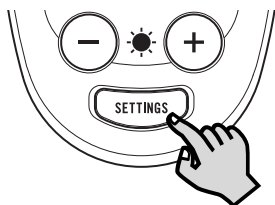
LED の表示	本機の状態
消灯	電源オフ
橙色に点灯	DISPLAY OFF
緑色に点灯	DISPLAY ON
緑色に点滅	バージョンアップ中
赤色に点滅	高温・低温異常
赤色に点灯	本機内蔵の投影装置異常

本機の設定を覚えよう

HUD セットアップを表示させる

HUDセットアップから、本機のおもな設定を行います。

1 **SETTINGS** ボタンを押す



HUD セットアップ画面が表示されます。



[ユーザー切替]	使用するユーザーを切り換えます。本機ではユーザーごとに設定を保存できます。(→ P16)
[機能設定]	本機の機能に関する設定ができます。(→ P17)
[表示設定]	表示内容の選択ができます。(→ P17)
[画面・画質調整]	画面の傾きや歪みなどの映像出力に関する調整ができます。(→ P19)
[Bluetooth設定]	Bluetooth 接続に関する設定ができます。(→ P21)
[バージョン情報]	本機のバージョン情報を表示します。(→ P22)
[初期化]	設定の初期化ができます。(→ P22)



・ [ユーザー切替]、[機能設定]、[表示設定]、[画面・画質調整] は、ナビゲーション本体と本機が Bluetooth 接続されている場合のみ操作できます。

ユーザー切替を行う

設定内容が保存できるユーザー数は3人です。

工場出荷時は、「ユーザー 1」に設定されています。

あらかじめHUDセットアップ画面を表示してください。(→ P16)

1 **+** ボタン (上 / 下) で [ユーザー切替] を選択し、**OK** ボタンを押す

2 **+** ボタン (上 / 下) で切り換えたいユーザーを選択し、**OK** ボタンを押す



ユーザーが切り換わります。



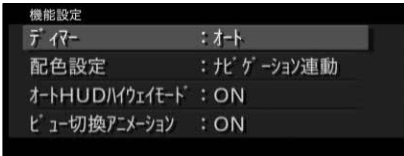
・ 各種設定を行う場合は、はじめにユーザーを切り換えてください。

機能設定を行う

あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)

1 **+**ボタン(上/下)で「機能設定」を選択し、**OK**ボタンを押す

2 **+**ボタン(上/下)で変更する項目を選択し、**OK**ボタンを押す



3 **+**ボタン(上/下)で設定したい項目を選択し、**OK**ボタンを押す



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

*は工場出荷時の設定です。

ディマー

周囲の明るさに合わせて自動的に画面の輝度を調整する・しないを設定します。(→P14)

[オート]*	調整します。
[セミオート]	調整しません。

配色設定

画面の配色を設定します。

[ナビゲーション連動]*	ナビゲーション本体の配色設定と連動します。
[昼色固定]	昼画面で固定します。
[夜色固定]	夜画面で固定します。

オート HUD ハイウェイモード

有料道路を走行した際、自動的にHUDハイウェイモードに切り換える・切り換ええないを設定します。

[ON]*	切り換わります。
[OFF]	切り換わりません。

ビュー切替アニメーション

AR HUDビュー(→P26)の切り換えをアニメーションで表示する・しないを設定します。

[ON]*	アニメーションで行います。
[OFF]	アニメーションで行いません。

表示設定を行う

あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)

1 **+**ボタン(上/下)で「表示設定」を選択し、**OK**ボタンを押す

2 **+**ボタン(上/下)で変更する項目を選択し、**OK**ボタンを押す



3 ボタン(上/下)で 設定したい項目を選択し、 ボタンを押す



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

*は工場出荷時の設定です。

コンパスリング

コンパスリング(→P30)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

交差点リスト

交差点リスト(→P33)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

案内地点距離サークル

案内地点距離サークル(→P30)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

ルート進捗度

ルート進捗度表示/経過時間表示(→P31)の表示内容・非表示を設定します。

[到着予想時刻]*	到着予想時刻または経過時間を表示します。
-----------	----------------------

[距離]	残距離または出発時刻を表示します。
[OFF]	表示しません。

時計

時刻表示(→P31)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、本機と接続するナビゲーション本体によっては表示されません。表示可能なナビゲーション本体は、2013年モデルのサイバーナビです。(→P45「◆対応ナビゲーション」)

ターゲットスコープ

ターゲットスコープ表示(→P32)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体に、クルーズスカウターユニットが接続されていなければ表示されません。

赤信号検知

赤信号検知アイコン表示(→P32)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体に、クルーズスカウターユニットが接続されていなければ表示されません。

横断歩道予告検知

横断歩道予告検知アイコン表示(→P32)の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体に、クルーズスカウターユニットが接続されていなければ表示されません。また、設定を「ON」にした場合でも、本機と接続するナビゲーション本体によっては表示されません。表示可能なナビゲーション本体は、2013年モデルのサイバーナビです。(→P45 [◆対応ナビゲーション])

ロゴマーク

ロゴマーク表示 (→P30) の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

オービスポイントマーク

オービスポイントマーク表示の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体にオービスポイントが存在しなければ表示されません。

ルートアドバイザー

ナビゲーションが渋滞情報と過去のリルート履歴を考慮してオートリルートを行った際、メッセージの表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

ETC レーン案内

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づいた際に、ETCレーン案内の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。

オービス警告

オービスポイント案内の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体にオービスポイントが存在しなければ表示されません。

レーン移動検知

レーン移動検知表示 (→P32) の表示・非表示を設定します。

[ON]*	表示します。
[OFF]	表示しません。



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体に、クルーズスカウターユニットが接続されていなければ表示されません。

画面・画質調整を行う

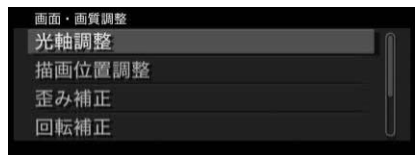
あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)



- 画面の輝度や周囲の状態によって、調整画面がはっきり見えない場合があります。画面の輝度を適切に調整 (→P14) するか、調整画面がはっきり見えるような場所に移動してから操作してください。

1 **+** ボタン(上/下)で[画面・画質調整]を選択し、**OK** ボタンを押す

2 **+** ボタン(上/下)で項目を選択し、**OK** ボタンを押す



光軸調整

RGBレーザーの光軸を調整します。
緑(Green)の位置を基準にして、赤(Red)と青(Blue)の位置を合わせます。

- 1 **+** ボタンで赤の十字を緑の十字に重ね、**OK** ボタンを押す



- 2 **+** ボタンで青の十字を赤・緑の十字に重ね、**OK** ボタンを押す

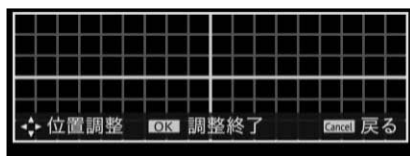


- 正常に調整すると十字が白く表示されます。

描画位置調整

描画位置を調整します。

- 1 **+** ボタンで格子模様の画像がすべて表示されるように調整し、**OK** ボタンを押す



歪み補正

画面の歪みを補正します。

- 1 **+** ボタン (上/下) で格子模様の画像が長方形になるように調整し、**OK** ボタンを押す



回転補正

画面の回転方向のずれを補正します。

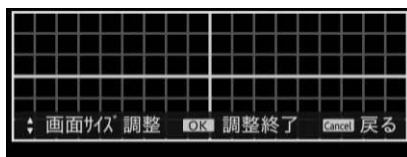
- 1 **+** ボタン (左/右) で格子模様の画像が水平・垂直になるように調整し、**OK** ボタンを押す



画面サイズ調整

表示される画面のサイズを調整します。

- 1 **+** ボタン (上/下) で格子模様の画像がすべて表示されるように調整し、**OK** ボタンを押す



位相調整

レーザースキャンの位相ずれを調整します。

- 1 **+** ボタン（左/右）で画像の縦線がぶれて2本に見えないように調整し、**OK** ボタンを押す



Bluetooth 設定を行う

あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)

- 1 **+** ボタン（上/下）で [Bluetooth 設定] を選択し、**OK** ボタンを押す

- 2 **+** ボタン（上/下）で項目を選択し、**OK** ボタンを押す



Bluetooth ON/OFF

Bluetooth機能をON/OFFできます。

- 1 **+** ボタン（上/下）で ON または OFF を選択し、**OK** ボタンを押す



- ナビゲーション本体との接続に必要な機能ですので、通常は「ON」の状態でご使用ください。

機器登録（待ち受け）

ナビゲーション本体を登録するための待ち受け状態になります。

初回のみ機器登録が必要ですが、登録機器の削除や本機の初期化を行わない限り2回目以降は自動的に接続されます。

機器登録について詳しくは、「Bluetooth機器登録を行う」(→P23) をご覧ください。



登録機器情報一覧

Bluetooth機器の登録情報一覧が表示できます。



一覧から登録機器を選択すると以下の画面が表示され、登録機器の接続や削除ができます。登録機器とのBluetooth接続が切れてしまった場合など、この画面から再接続できる場合があります。



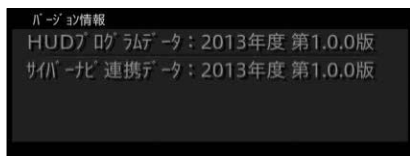
[接続]	登録機器との接続を行います。
[削除]	登録機器を削除します。

バージョン情報を表示する

本機のソフトウェアやデータのバージョン情報を確認することができます。

あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)

- 1 **+** ボタン (上/下) で [バージョン情報] を選択し、**OK** ボタンを押す



[HUD プログラムデータ]	本機のソフトウェアバージョンが確認できます。
----------------	------------------------

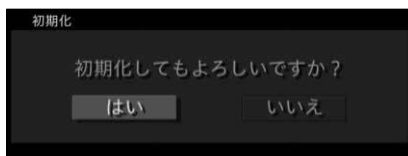
[サイバーナビ連携データ]	ナビゲーション本体と連携するためのデータバージョンが確認できます。
---------------	-----------------------------------

本機を初期化する

本機の設定を初期化します。
あらかじめHUDセッティング画面を表示してください。(→P16)

- 1 **+** ボタン (上/下) で [初期化] を選択し、**OK** ボタンを押す

- 2 **+** ボタン (左/右) で [はい] を選択し、**OK** ボタンを押す



設定が初期化されます。



- 全ユーザーのデータが初期化されますのでご注意ください。
- 初期化をした場合は再度 Bluetooth 機器登録 (→P23) を行ってください。

本機とナビゲーションを接続してみよう

Bluetooth 機器登録を行う

本機は、ナビゲーション本体とBluetoothを使って接続します。Bluetoothの接続を行うためには、本機とナビゲーション本体の両方で操作し、Bluetooth機器登録を行う必要があります。



- ナビゲーション本体が Linkwith と Bluetooth 接続している場合、HUD と Bluetooth 接続することができません。使用用途に合わせてナビゲーション本体の設定を変更してください。ナビゲーション本体の設定については、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』や WEB 配信または有償の『ユーザーズガイド』をご覧ください。

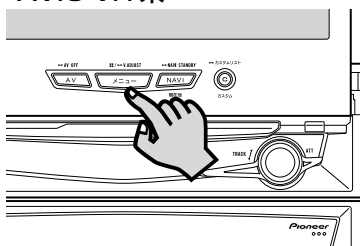
1 Bluetooth 機能を「ON」にし、機器登録画面を表示する (→ P21)



- 工場出荷時は「ON」に設定されています。設定を「OFF」に変更している場合には、「ON」に切り換えてください。

2 ナビゲーション本体のメニューボタンを押す

例) AVIC-VH 系



3 設定・編集にタッチする



4 システム設定にタッチする



5 Bluetooth 設定にタッチする



6 機器登録にタッチする



周辺の Bluetooth 機器を検索してリスト表示します。

7 Pioneer HUD が表示されたらタッチする



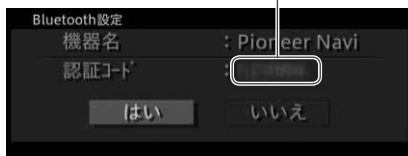
ナビゲーション本体と本機それぞれに認証画面が表示されます。

8 ナビゲーション本体と本機の認証コードが一致していることを確認する

本機

ボタン (左/右) で [はい] を選択し、
OK ボタンを押してください。

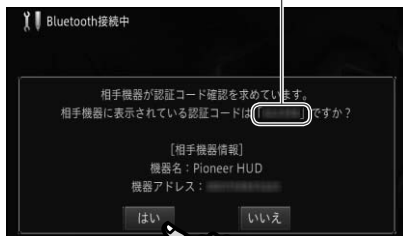
認証コード



ナビゲーション本体

[はい] にタッチしてください。

認証コード



引き続き登録完了画面が表示されます。

本機

OK ボタンを押してください。



ナビゲーション本体

確認 にタッチしてください。



設定完了画面が表示されます。

確認 にタッチしてください。



本機を操作してみよう

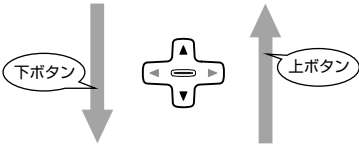
AR HUD ビューを操作する

本機は、「HUDドライバーモード」、「HUDマップモード」、「HUDハイウェイモード」の3つの表示方法を切り換えて表示することができます。

AR HUD ビューの切り換えかた

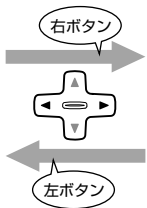
HUD マップモード

☒ ボタン(上)でHUD マップモードに切り換わります。



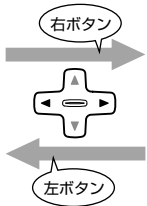
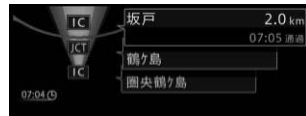
HUD ドライバーモード

200 m スケールの状態で☒ ボタン(下)でHUD ドライバーモードに切り換わります。



HUD ハイウェイモード

オートHUDハイウェイモード(→P17)が「ON」に設定されている場合は、有料道路を走行すると、自動的にHUDハイウェイモードに切り換わります。



※HUDハイウェイモードは、有料道路を走行中の場合のみ表示できます。

HUD ドライバーモード

ルート

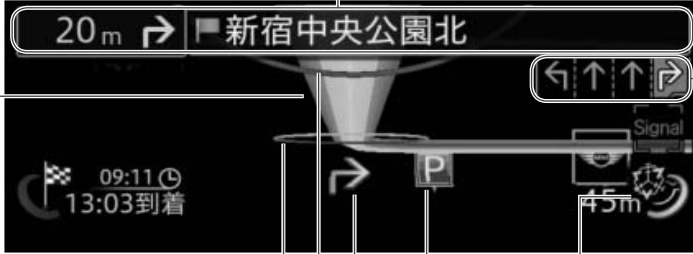
設定したルートは、一般道は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。（→ P30）

ルートインフォメーション

次の案内地点までの距離と案内方向が表示されます。また、案内地点に近づくと案内地点の名称が表示されます。（→ P29）

レーン情報

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色（推奨レーンは明るい緑色）で表示されます。（→ P29）



案内地点距離サークル

次の案内地点からの距離を円で表示します。（→ P30）

コンパスリング

自車の進行方向を示します。（→ P30）

案内矢印

案内地点の位置と案内方向が表示されます。（→ P30）

CS インフォメーション

車間距離や適正車間距離範囲など、ナビゲーション本体に接続されたクルーズスカウターユニットの情報を表示します。（→ P31）

ロゴマーク

周辺にある施設が表示されます。（→ P30）



ルート進捗度表示 / 経過時間表示

目的地または立寄地までの進捗度が表示されます。ナビゲーション本体の到着予想時刻表示および HUD セッティングによって表示内容を変更することができます。（→ P31）

交差点リスト

この先の案内地（最大 3 地点まで）がリスト表示され、案内方向や距離、交差点名称などが表示されます。（→ P33）

お使いになる前に

基本操作

AR HUD 機能

バージョンアップ

困ったときは

付録

HUD マップモード

ルートインフォメーション



コンパスリング

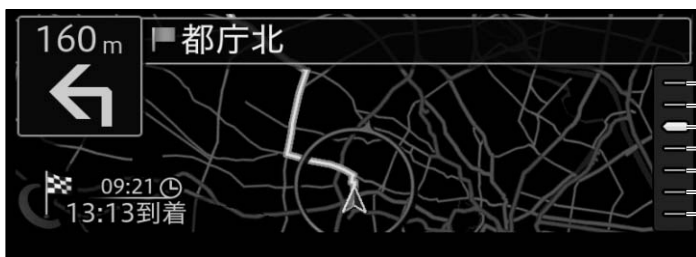


- 表示される道路種別について、詳しくはナビゲーション本体の『取扱説明書』をご覧ください（本機では表示されない情報も含まれます）。

スケール切り換え

☒ ボタン（上/下）で200 m～10 kmの範囲でHUDマップモードの表示スケールを変えることができます。

☒（上）	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されなくなります。
☒（下）	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。



- 10 km スケール
- 5 km スケール
- 2 km スケール
- 1 km スケール
- 500 m スケール
- 200 m スケール
- HUD ドライバーモード



- スケールを切り換えると右側のスケールゲージが表示されます。スケール切り換え操作を行わずにしばらくするとスケールゲージは消えます。

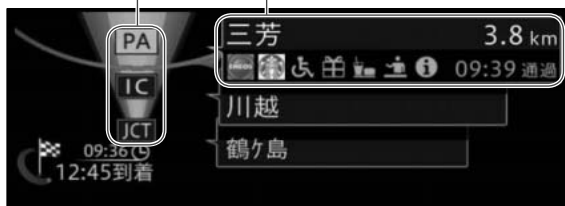
HUD ハイウェイモード

施設の種類の

施設の種類が表示されます。
(→ P33)

施設情報の

施設名称や店舗情報などが表示されます。また、直近の施設に関しては残り距離と通過予想時刻が表示されます。(→ P33)



本機を使いこなす

ルートインフォメーション

次の案内地点までの距離と曲がる方向が表示されます。

次の案内地点までの距離



次の案内地点の曲がる方向

案内地点に近づくと、案内地点の名称が表示され距離と曲がる方向の色が変わります。

次の案内地点までの距離 案内地点の名称



次の案内地点の曲がる方向

HUDマップモードでの表示は以下のようになります。

次の案内地点までの距離 案内地点の名称

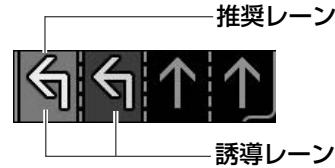


次の案内地点の曲がる方向

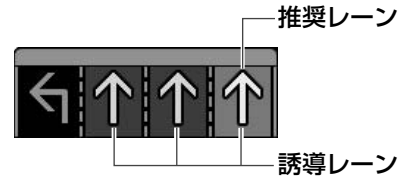
レーン情報

レーン情報は、誘導中のレーンが一般道の場合は緑色、有料道の場合は青色で表示されます。推奨の誘導レーンは明るい色で表示されます。また、レーン情報には案内地点のレーン情報と通過する交差点のレーン情報があります。

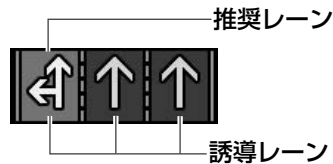
一般道 / 案内レーン



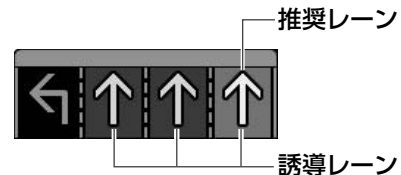
一般道 / 通過レーン



有料道 / 案内レーン



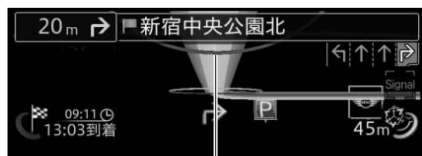
有料道 / 通過レーン



コンパスリング

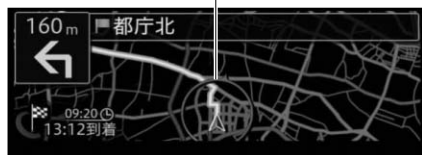
コンパスリングは、自車の進行方向の方角を示します。赤い突起部が北を、青い突起部が南を表します。

HUD ドライバーモード



コンパスリング

HUD マップモード



ロゴマーク

周辺にある施設がロゴマークで表示されます。表示されるロゴマークは、ナビゲーション本体の「ロゴマーク表示設定」で選択できます。

ロゴマークが表示されるのはHUDドライバーモードのみです。



ロゴマーク



- ナビゲーションの操作方法に関しては、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』やWEB配信または有償の『ユーザーズガイド』をご覧ください。
- ナビゲーション本体で表示設定したロゴマークに関しても、一部本機で表示されないものがあります。

案内矢印

案内地点の位置と曲がる方向が表示されます。

案内矢印が表示されるのはHUDドライバーモードのみです。



案内矢印

案内地点距離サークル

案内地点を中心とした同心円と案内地点からの距離が表示されます。



案内地点距離サークル

ルート

ナビゲーション本体で設定されたルートを本機で表示します。

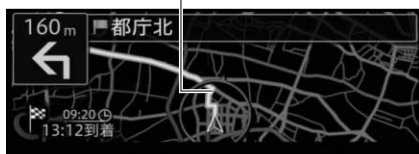
ルートは、一般道の場合は明るい緑色、細街路の場合はピンク色、有料道路の場合は明るい青色で表示されます。

HUD ドライバーモード



ルート

HUD マップモード



時計表示

現在の時刻を表示します。

時計表示



- 設定を「ON」にした場合でも、本機と接続するナビゲーション本体によっては表示されません。表示可能なナビゲーション本体は、2013年モデルのサイバーナビです。(→P45「対応ナビゲーション」)

ルート進捗度表示 / 経過時間表示

目的地または立寄地までの進捗度が表示されます。また、HUDセッティングによって到着予想時刻などの表示内容が変更できます。



ルート進捗度表示 / 経過時間表示

目的地到着位置



出発位置

立寄地 1 到着位置



出発位置

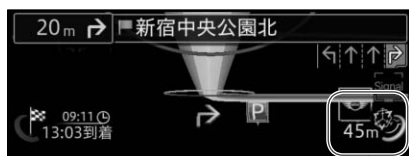
		HUD セッティング ルート進捗度表示設定	
		到着予想時刻	距離
到着予想時刻表示設定	目的地 (到着時刻 残距離)	目的地までの到着 予想時刻表示 	目的地までの残距離表示
	立寄地 (到着時刻 残距離)	立寄地までの到着 予想時刻表示 	立寄地までの残距離表示
	目的地(到着時刻) ・出発時刻	出発してからの経過 時間表示 	出発時刻の表示



- HUD セッティングで「OFF」に設定されている項目は表示されません。
- ナビゲーションの操作方法に関しては、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』や WEB 配信または有償の『ユーザーズガイド』をご覧ください。

CS インフォメーション

車間距離や適正車間距離範囲、検知した赤い信号機候補や横断歩道あり道路標示など、ナビゲーション本体に接続されたクルーズスカウターユニットの情報を表示します。



CS インフォメーション

前方車両非認識時



前方車両認識時



赤信号検知アイコン



インジケーター
車間距離変化状況を
カラー表示します。

車間距離

お使いになる前に

基本操作

AR HUDメニュー

バージョンアップ

困ったときは

付録

• ターゲットスコープ表示

ターゲットをスコープで囲って表示します。



ターゲットスコープ表示



- 設定を「ON」にした場合でも、ナビゲーション本体に、クルーズスカウターユニットが接続されていない则表示されません。
- 表示設定でターゲットスコープを「OFF」にすると、インジケーターと車間距離表示が非表示になります。

• インジケーター

前方車両との車間距離が適正だと水色、適正でないとオレンジ色で表示します。

適正車間距離に対する車間距離



長い



短い

• 車間距離表示

前方車両との車間距離を距離数で示します。



65 m 以上

(例) 45 m

20 m 未満

• 赤信号検知アイコン

ナビゲーション本体に接続されたクルーズスカウターユニットで赤い信号機候補を検知した際に表示されます。



• 横断歩道予告検知アイコン

ナビゲーション本体に接続されたクルーズスカウターユニットで、横断歩道または自転車横断帯ありの道路標示を検知すると表示されます。



- 横断歩道予告検知アイコンは、本機と接続するナビゲーション本体によっては表示されません。表示可能なナビゲーション本体は、2013年モデルのサイバーナビです。(→ P45「◆対応ナビゲーション」)

• レーン移動検知

ナビゲーション本体に接続されたクルーズスカウターユニットで一定時間の片寄り走行を検知した際に表示されます。



- ナビゲーション本体にクルーズスカウターユニットが未接続の場合、またナビゲーションの「クルーズスカウター設定」で機能を「OFF」に設定している場合は、CSインフォメーションは表示されません。
- CSインフォメーション表示は、あくまで運転の目安表示であり、安全を保証する機能ではありません。必ず目視で周囲を走行する車両を確認し、余裕を持って走行するよう心がけてください。
- ナビゲーション本体およびクルーズスカウターユニットの操作方法などに関しては、ナビゲーション本体に付属の「取扱説明書」やWEB配信または有償の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

交差点リスト

停車した際に、この先の案内地(最大3地点までの)誘導方向、距離、交差点名称などをリスト表示します(距離表示は直近の案内地のみ)。

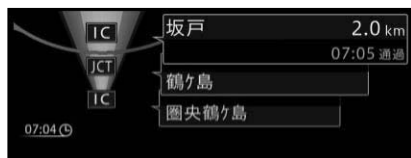
ステアリングリモコンの操作や自車の発進、前方車両の発進を検知(ナビゲーション本体にクルーズスカウターユニットが接続されている場合のみ)すると交差点リストは消去されます。この機能はHUDドライバーモード時のみ有効となります。



- 案内地の近くでは交差点リストが表示されない場合があります。

HUD ハイウェイモード

HUDハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを直近3施設まで確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。



施設情報、施設の種類の



施設名称や店舗情報、サービス情報などが表示されます。直近の施設のみ、自車位置からの距離や通過予想時刻が表示されます。

左側に表示されているアイコンはその施設の種類を示します。



- サービスエリアやパーキングエリアで表示される店舗情報やサービス情報の詳細に関しては、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』やWEB配信または有償の『ユーザーズガイド』をご覧ください。
- 本機には、施設の先送りなどの機能はありません。ナビゲーション本体の操作でご確認ください。

VICS 情報表示について

ナビゲーション本体がVICS情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)に近い順に3件まで表示されます。



- 本機は、VICS規制情報の表示には対応していません。ナビゲーション本体の操作でご確認ください。
- VICS情報の取得方法などに関しては、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』やWEB配信または有償の『ユーザーズガイド』をご覧ください。

本機のバージョンアップについて

ナビゲーション本体と連携するパソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を利用して、本機のバージョンアップを行うことができます。

ナビゲーション本体と本機のバージョンを確認する

ナビゲーション本体と本機はバージョンの違いによって接続できない場合があります。

接続するには、ナビゲーション本体の「地図データバージョン」と本機の「サイバーナビ連携データバージョン」が一致していることを確認してください。

バージョンが異なる場合は、ナビゲーション本体または本機をバージョンアップしてください。

ナビゲーション本体のバージョン確認

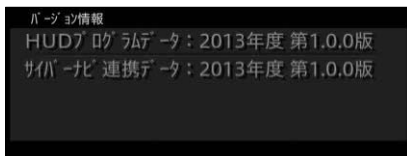
1 ナビゲーション本体の メニュー-[情報]-[バージョン情報]にタッチする



[地図データ]の「○○○○年 第○.*版」を確認します。

本機のバージョン確認

1 ステアリングリモコンの SETTINGS-[バージョン情報]を選択する



[サイバーナビ連携データ]の「○○○○年度 第○.*版」を確認します。ナビゲーション本体の[地図データ]と本機の「サイバーナビ連携データ」の○の部分が一貫していることを確認します。

- ! ナビゲーション本体のバージョンアップをする場合は、本機のバージョンアップの前に行ってください。
- 以下のナビゲーションをお使いの場合は、本機と接続する前にナビゲーション本体のバージョンアップ(2013年度版全データ更新)を行ってください。AVIC-VH99HUD/ZH99HUD/VH99CS/ZH99CS/VH99/ZH99/VH09CS/ZH09CS/VH09/ZH09/ZH09-MEV
- ナビゲーション本体、および本機のバージョンアップについては、パイオニアの以下ホームページで確認してください。
http://pioneer.jp/car/v_up/

バージョンアップのステップ

- ① ナビゲーション本体と本機をBluetooth接続する(→P23)
ナビゲーション本体と本機のバージョンが異なる場合は、「HUDとナビゲーション本体のバージョンが異なります。適切なバージョンに更新して下さい。」と表示されます。そのまま②にお進みください。

- ② 本機をバージョンアップする
1. microSDカードを準備する(→P35)

2. microSDカードを登録する (→P36)



3. ナビゲーション本体にSDカードを登録する (→『ナビゲーションの取扱説明書』)



4. ナビスタジオで更新データをダウンロードする (→P36)
ダウンロードの際は、microSDカードおよびSDカードを、それぞれパソコンにセットしてください。



5. バージョンアップをする (→P37)



- ナビゲーション本体のバージョンと本機のバージョンが異なると、接続できない場合があります。ナビゲーション本体と本機の両方を最新の状態にしてください。
- ナビスタジオの動作環境、ご使用方法などに関しましてはナビスタジオ内のオンラインヘルプをご覧ください。

microSD カードを準備する

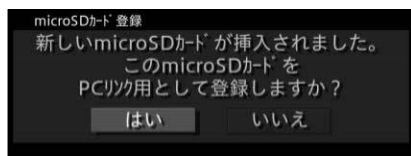
- 本製品に microSD カードは付属していません。市販の microSD カードをご用意ください。
- ナビスタジオを利用して本機のバージョンアップを行うためには、2 GB 以上の microSD カードもしくは microSDHC カードが必要です。
※ microSDXC カード (exFAT ファイルシステム) は非対応です。
お使いいただいているパソコンが microSD カード / microSDHC カードに対応していない場合には、microSD カード / microSDHC カードに対応したカードリーダー /ライターなどをご使用ください。
- お持ちのパソコンで認識している microSD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSD カードによっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットすると SD 規格非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。
ただし、フォーマットした場合は、microSD カードに記録されたデータが全て消失します。
フォーマットの際には、必ず microSD カードのバックアップを作成してから行ってください。
- microSD カードのフォーマットソフトウェアは、SD アソシエーションのホームページより入手できます。
<https://www.sdcard.org/jp/>

microSD カードを登録する

1 本機に microSD カードを挿入する (→ P12)

登録されていない microSD カードを挿入すると、本機に登録確認メッセージが表示されます。

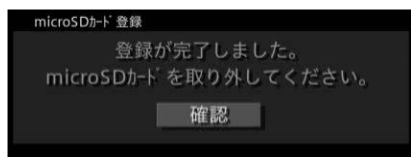
2 ボタン(左/右)で [はい] を選択し、 ボタンを押す



挿入した microSD カードがナビスタジオ用として本機に登録されます。

- [いいえ] を選択した場合は、登録が行われず、ナビスタジオ用としてお使いになることはできません。

3 ボタンを押す



4 本機から microSD カードを取り外す (→ P13)

ナビスタジオで更新データをダウンロードする

ナビスタジオのアップデートマネージャーを使用して、更新データをダウンロードします。
ナビスタジオ、およびアップデートマネージャーのご使用方法などに関しましてはナビスタジオ内のオンラインヘルプをご覧ください。

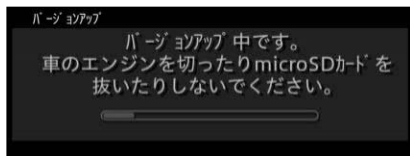
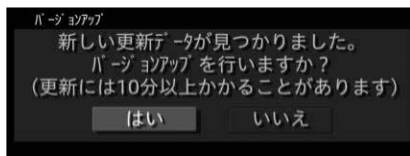
バージョンアップをする



更新データを転送したmicroSDカードを使用し、本機をバージョンアップします。

1 更新データが保存されたmicroSDカードを本機に挿入する (→ P12)

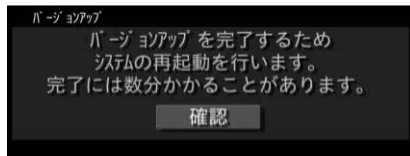
本機にバージョンアップ確認メッセージが表示されます。

2 ボタン(左/右)で「はい」を選択し、 ボタンを押す





-  バージョンアップ中は、DISPLAY ON/OFF ボタンのLEDが緑色に点滅します。
-  バージョンアップ中にmicroSDカードを抜かないでください。
- バージョンアップ中に車のエンジンを切ったりACCをOFFにしたりしないでください。

3 ボタンを押す



本機が再起動します。

-  再起動中に画面が見えなくなる場合があります。
- 再起動には時間がかかる場合があります。
-  再起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
- 再起動中に車のエンジンを切ったりACCをOFFにしたりしないでください。

4 ボタンを押す



5 本機からmicroSDカードを取り外す (→ P13)

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは「保証書とアフターサービス」(→P44)をお読みになり修理を依頼してください。

■共通項目

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
電源が入らない、動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンがかかっている。 → エンジンまたはACCをONにしてください。 ・ ヒューズが切れている。 → ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 ・ 電源ケーブルが正しく接続されていない。 → 取付説明書をよく読み、電源ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
LED表示 (→P15) が赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の温度が極度に低いまたは高い。 → 本機には、使用温度範囲 (→P45) があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。炎天下に駐車する時は、サンシェード等をお使いください。
画面に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ DISPLAY OFFになっている。 → DISPLAY ON/OFFボタンを押して、DISPLAY ONの状態にしてください。(→P15) ・ 周囲の温度が極度に低いまたは高い。 → 本機には、使用温度範囲 (→P45) があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。 ・ コンバイナーの角度がずれている。 → 「コンバイナーの角度を調整する」(→P14) および取付説明書をよく読み、使用環境に合わせてコンバイナーの角度を調整してください。
HUDセッティングが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停車していない。 → 本機は、安全のため走行中にセッティング操作ができないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、操作してください。 ・ コンバイナーの角度がずれている。 → 「コンバイナーの角度を調整する」(→P14) および取付説明書をよく読み、使用環境に合わせてコンバイナーの角度を調整してください。 ・ ステアリングリモコンの電池が切れている。 → ステアリングリモコンの裏ボタンをはずして、リチウム電池 (CR2032) の (+) 側を上にしてセットしてください。(→P13)
画面に黒い点がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドレンズまたはコンバイナーにほこりや汚れが付着している。 → やわらかいきれいな布で、ほこりや汚れを拭き取ってください。
画面がにじんだり、ぼやけて見える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかの理由により、画面・画質調整が必要な状態になっている。 → もう一度画面・画質調整を行ってください。(→P19) 改善しないときは販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ナビゲーションとBluetooth接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth機器登録をしていない。 →本機およびナビゲーション本体で機器登録してください。(→P23) 接続しようとしているナビゲーションが本機に対応していない。 →対応ナビゲーションを確認してください。また、ナビゲーションに更新データが存在する場合には、バージョンアップを行ってください。 接続していたナビゲーションを別のナビゲーションに変えた。 →変えたナビゲーションと機器登録を行い、ナビゲーション本体からBluetoothの接続操作を行ってください。 ナビゲーション本体がLinkwithとBluetooth接続している。 →ナビゲーション本体がLinkwithとBluetooth接続している場合、HUDとBluetooth接続することができません。ナビゲーション本体の設定を変更し、もう一度本機とのBluetooth接続を行ってください。(→P23)
映像が3 m先に見えない。	<ul style="list-style-type: none"> 弊社での実証実験では、3 m先に映像が映し出されることを確認していますが、ドライバーの座高・着座位置、車両の天井高さ・傾き、周囲の明るさなどに応じて、表示される映像の位置や見え方に变化が生じる可能性があります。
画面が緑がかって見える。	<ul style="list-style-type: none"> 輝度を下げた場合や夜画面表示においては、特性上画面が緑がかる場合があります。故障ではありません。
自車位置を測位できない。	<ul style="list-style-type: none"> GPS受信感度が低い。 →GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
ナビゲーションと本機のBluetoothバージョンが異なっている。	<ul style="list-style-type: none"> バージョンが異なっても問題ありません。

AR HUD ビュー

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
地図が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域や新しい情報の表示は、データの取得に時間がかかる場合があります。故障ではありません。
地図がノースアップにならない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機はノースアップの地図表示に対応していません。
地図上にVICS情報が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> HUDドライバーモードまたはHUDマップモードになっている。 →HUDドライバーモード、HUDマップモードではVICS情報は表示されません。

バージョンアップ

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
お手持ちのパソコンで認識しているmicroSDカードが、本機で認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードが正しくフォーマットされていない。 →専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、microSDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。URL:https://www.sdcard.org/jp/

エラーメッセージと対処方法

■ 共通項目

メッセージ	考えられる原因とその処置
走行中は操作できません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行中に^(SETTINGS)ボタンを押した。 ➔車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
HUDとナビゲーション本体のバージョンが異なります。適切なバージョンに更新してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機とナビゲーション本体のバージョンが異なっている。 ➔本機およびナビゲーション本体のバージョン情報を確認し、更新データが存在する場合はバージョンアップを行ってください。
接続された機器はサポートされていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機に非対応の機器と接続した。 ➔対応機器の確認をしてください。また、機器のバージョンアップが行われていない場合はバージョンアップを行ってください。

■ Bluetooth

メッセージ	考えられる原因とその処置
ナビゲーション本体から接続をおこなってください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機やナビゲーションのご使用状況、および外部環境の影響などにより、ナビゲーション本体とBluetooth接続できていない。 ➔ナビゲーション本体を操作して、もう一度本機とのBluetooth接続を行ってください。
ナビゲーションとの接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナビゲーション本体がLinkwithとBluetooth接続している。 ➔ナビゲーション本体がLinkwithとBluetooth接続している場合、HUDとBluetooth接続することができません。ナビゲーション本体の設定を変更し、もう一度本機とのBluetooth接続を行ってください。(→P23)
登録に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかの原因でBluetoothの機器登録に失敗した。 ➔電源を入れ直してから、もう一度機器登録してください。
登録出来ません。登録は5台までです。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6台目のBluetooth機器を登録しようとした。 ➔Bluetooth機器の登録は5台までです。それ以上登録を行う場合は、登録機器を削除してから行ってください。

HUD セッティング

メッセージ	考えられる原因とその処置
初期化に失敗しました。	・ 何らかの原因で初期化に失敗した。 ➔電源を入れ直してから、もう一度初期化してください。

バージョンアップ

メッセージ	考えられる原因とその処置
更新済みのためバージョンアップできません。更新データを確認し、再度挿入してください。	・ 何らかの原因で取得した更新データが使用できない。 ➔もう一度ナビスタジオ経由で更新データを取得してmicroSDカードに書き込み、バージョンアップをやり直してください。
登録に失敗しました。microSDカードをご確認ください。	・ 何らかの原因で登録に失敗した。 ➔もう一度microSDカードを入れ直してください。
バージョンアップが中断されました。microSDカードを再度挿入してください。	・ バージョンアップ中にmicroSDカードが抜き取られた。 ➔もう一度microSDカードを挿入してバージョンアップを行ってください。
バージョンアップが中断されました。更新データを再取得してください。	・ microSDカード内のデータが破損している。 ➔もう一度ナビスタジオで更新データを取得して、microSDカードに書き込み、バージョンアップをやり直してください。
バージョンアップが中断されました。microSDカードをご確認ください。	・ microSDカードが正しくフォーマットされていない。 ➔専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、microSDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/
バージョンアップが未完了です。microSDカードを再度挿入してください。	・ バージョンアップ中にエンジンを切った。 ➔もう一度バージョンアップを行ってください。バージョンアップが完了するまではエンジンを切らないでください。 ・ バージョンアップ中にmicroSDカードが抜き取られた。 ➔もう一度microSDカードを挿入してバージョンアップを行ってください。

取り扱い上のご注意

本機の正しい使いかた

- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを本機に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。
- 定期的に取り付の緩みがないか確認し、緩みがある場合は締め直してください。緩みを放置すると本体落下の原因となる場合があります。

コンバイナーの正しい使いかた

- コンバイナーの保護シートは取り外して使用してください。コンバイナーにはコーティングが施してありますので、フィルムおよびシート類は絶対に貼らないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、コンバイナーが歪んだり、故障の原因になります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。サンシェードを使用する場合はコンバイナーに触れないようご注意ください。また、直接コンバイナーに触れますとコンバイナーが傷付く場合がありますので取り扱いにご注意ください。
- コンバイナーの角度を調整する場合は、できるだけ上下の縁を挟むようにつかんで調整してください。中央をつかんでしまうと指紋が表示部に付着し、画質が劣化する場合があります。
- コンバイナーをある一部の角度から見た際に、コンバイナーに若干のくもりが見られる場合がありますが、実使用上問題ありませんのでそのままお使いください。

遮光板の正しい使いかた

- 遮光板は、強い外光があるときだけ使用してください。

microSD カードの正しい使いかた

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

本体のお手入れについて

- フィールドレンズとコンバイナーには、プラスチック表面にコーティングが施されているため、手を触れないでください。フィールドレンズやコンバイナーの表面に指紋や傷が付くと画質が劣化する場合があります。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着するとコーティングが剥げることがありますのでご注意ください。
- 指紋などの汚れが付いた場合は、以下の内容に注意してお手入れしてください。
 - － 本体・フィールドレンズ・コンバイナーに付いた汚れを清掃するときは、電源を切ってからやわらかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
 - － トレシー*1やマイクロスター*2などのマイクロファイバー製のめがねふきやレンズクリーニングクロスが最適ですが、車両のボディ拭きや窓拭きなどの用途とは併用せず、専用のものをお使いください。その場合、クロス付属の取り扱い説明に従ってください。
 - － 本体・フィールドレンズ・コンバイナーを拭くときは、爪で引っかかないように注意してください。

ー ティッシュやハンカチ、ぬれたぞうきんや科学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。拭きむらやコーティングはがれの原因となる場合があります。

*1：トレシーは東レの登録商標です。

*2：ミクロスターはテイジンの登録商標です。

- 画像表示に影響する場合がありますので、車内でのスプレー系製品の使用は避けてください。また、車内でくん蒸・くん煙剤を使用する場合は、コンパイナ―およびHUD本体をカバーしてください。

- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

- * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- * 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
- * アマチュア無線局など

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解／改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能がとぎれたりつながりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声が途切れたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される干渉距離（約 10 m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。

お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)。

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

使用電圧：DC 14.4 V
(10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

最大消費電流：1 A 以下
アース方式：マイナスアース方式
使用温度範囲：0 °C ~ +45 °C*

※ 動作温度範囲を超える高温および低温時は、製品内の部品を保護するため、輝度を下げて表示したり、映像出力を停止する場合があります。

◆表示部

画素数：202 800 画素
[水平 780 × 垂直 260]

方式：ラスタースキャン方式
光源：RGB レーザー光源

◆ microSD カード部

対応メディア：microSD メモリーカード /
microSDHC メモリーカード
(Version 2.0)

SPEED CLASS：class 2/4/6/8/10
最大メモリ容量：32 GB
ファイルシステム：FAT16/FAT32

◆ Bluetooth 部

Bluetooth バージョン：Bluetooth2.1+EDR
出力：最大 +4 dBm (Power class2)

◆ 外形寸法

本体寸法：
260(W) mm × 123(H) mm × 257(D) mm

コンバイナー寸法：
260(W) mm × 75(H) mm × 5(T) mm

リモコン寸法：
38(W) mm × 67(H) mm × 20(D) mm

◆ 質量

本体部：950 g (ステイ含む)
リモコン部：26 g (電池含む)

◆ 付属品

ステアリング対応リモコン：1^{※1}
電源ボックス/ケーブル：一式^{※1}
取扱説明書：1
取付説明書：1
保証書：1 (「[ND-HUD2]」のみ)
ソフトウェアのライセンスに関するお知らせ：1
AR HUD ユニット取付推奨部品確認表：1
技術基準適合確認書 (委託試験成績書)：1

※1 接続：取り付け部品の詳細につきましては、『取付説明書』をご覧ください。

◆ 対応ナビゲーション

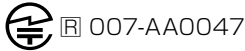
本製品が対応するナビゲーションは以下のとおりです。

- サイバーナビ 2013 年モデル：
AVIC-VH0009HUD、ZH0009HUD、
VH0009CS、ZH0009CS、VH0009、
ZH0009、ZH0007
- サイバーナビ 2012 年モデル (2013 年
度版全データ更新済)：
AVIC-VH99HUD、ZH99HUD、VH99CS、
ZH99CS、VH99、ZH99
- サイバーナビ 2011 年モデル (2013 年
度版全データ更新済)：
AVIC-VH09CS、ZH09CS、VH09、
ZH09、ZH09-MEV

* サイバーナビ 2012 年モデル AVIC-
ZH77、2011 年モデル AVIC-ZH07 は
対応しておりません。

商標・著作権など

- 本機は、電波法に基づく設計認証を取得しています。



- 「PicoP」ロゴは MicroVision 社の商標です。



- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。





- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 弊社は、本製品に収録されたデータなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコール および  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用にできません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよく確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話:  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX: **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよく確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-5-81028** カーバイオニア 【一般電話】 **044-572-8100** FAX:  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: 【一般電話】 **098-987-1120** FAX: **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX:  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.046

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2013
<KFWM13D> <CRA4682-A>